



第58回 北海道言語障害児教育研究大会 函館大会〔大会通信 NO. 1〕

令和7年6月



第58回 北海道言語障害児教育研究大会 函館大会

運営委員長 長縄 達幸（函館市立日吉が丘小学校長）

第58回北海道言語障害児教育研究大会 函館大会まであと4か月ほどとなりました。

渡島管内での開催は平成26年の渡島・函館大会以来となっております。歴史的な建造物や異国情緒あふれる街並み、夜景など多くの観光客が訪れるこの道南・函館において本大会を再び開催できますことを、心より嬉しく思っております。

本研究大会は、北海道言語障害児教育研究協議会（道言協）の研究主題「ことばを支える『心の育ち』を大切にした支援のあり方を考える」に基づき、下記の4つの研究の柱に沿って進めて参ります。

- 1 その子をどのようにとらえていくか。
- 2 その子にとっての問題をどのようにおさえ、問題の発生と経過をどうとらえるか。
- 3 その子にとっての必要な育ちとは何か。どのようにかわり、支援するか。
- 4 支援の経過をどのように振り返り、関係する人々とどう情報共有するか。

今回の研究大会は、全体会、記念講演をオンデマンド配信とし、分科会は交流が深まり多くの情報を共有できるようにと会形式にしております。一人でも多くの方に参加いただき、実りのある研修の機会となるように準備を進めております。全道各地からのたくさんの方々のご参加をお待ちしております。